

質問書に対する回答

件名) 首都圏中央連絡自動車道 東金地区耐震補強設計

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	特記仕様書 2-5 現地踏査	現地踏査の人工は1式あたり 主任技師1.5人 技師A 1.5人 技師B 1.5人 でしょうか。	調査等積算基準8-8-13 2-6現地踏査の歩掛の適用を想定しています。
2	特記仕様書 2-8 橋梁耐震補強設計 橋脚耐震補強設計 東金IC Aランプ橋 P12橋脚	特記仕様書p16 東金IC Aランプ橋のP12橋脚につきまして、橋脚形式「壁式(張出有)」とありますが、これは「柱式橋脚(張出有)」と読み替えて良いでしょうか。参考図においても張出を有する橋脚が描かれています。また当該の橋脚は金抜設計にて「橋梁耐震補強設計 橋脚耐震補強設計 東金IC Aランプ橋 柱(壁)式橋脚C1」に該当するものと思いますが、技師B人工を教えてくださいませんか。	構造形式については、特記仕様書に記載のとおりです。また「橋梁耐震補強設計 橋脚耐震補強設計 東金IC Aランプ橋 壁式橋脚C1」は調査等積算基準8-8-3 2-2-1 橋脚耐震補強設計 柱式橋脚(張出有)の歩掛適用を想定しています。
3	特記仕様書 2-8 橋梁耐震補強設計 橋脚耐震補強設計 東金IC Bランプ橋 P6橋脚	東金IC Bランプ橋 P6橋脚につきまして特記仕様書p17では二柱式橋脚と示されており、「関連する内訳書の記号」列には「A」が示されています。参考図においても二柱式橋脚が描かれています。また当該の橋脚は金抜設計書にて「橋梁耐震補強設計 橋脚耐震補強設計 東金IC Bランプ橋 柱式橋脚(張出有)A」に該当するものと思いますが、技師B人工を教えてくださいませんか。	金抜設計書に誤りがありました。上記については交付図書を訂正いたします。